



社会福祉法人 熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 81号 [事業報告] 令和7年 夏号



残暑お見舞いと新理事長就任ご挨拶

社会福祉法人 熊本いのちの電話
理事長 光永 尚生

残暑お見舞い申し上げます。皆様には、2025年猛暑の夏をいかがお過ごしでしょうかお伺い致します。このたび、福田稠前理事長に代わり、新たに社会福祉法人熊本いのちの電話理事長を拝命いたしました。

現在は、熊本YMCA相談役、九州ルーテル学院学院長を務めております。

2025年4月1日に創立40周年を迎えた熊本いのちの電話は、度重なる困難の中にあっても、多くの先達のご努力のおかげで活動を継続することができました。この間には、熊本地震、豪雨災害、新型コロナ感染などのパンデミックもあり決して平坦な道のりはありませんでした。また、この1年では、記録的物価高騰、社会的不安感の増加などで自殺者統計数も増加傾向となっています。ますます、いのちの電話に対する社会の要請が増加することを考えなければなりません。

熊本いのちの電話における40年間の活動を振り返れば、相談員の働きはもちろんですが、地域の皆様、行政、

様々な企業、団体、有志の方々のお支えがあったことは感謝に堪えません。

現在、相談員数は162名ですが、熊本YMCA本館グローバルコミュニティセンターにおいて実施中の相談員養成講座を受けている第42期生は23名です。来年4月からは実際に電話を受けながら更に1年間の研修を経たあと、相談員として認定されます。

2024年度の相談受信件数は、11,886件となり前年度比1,680件の増加でした。これは、研修生が増加し、相談員総数が確保され、受信件数の増加につながったものです。

一方で、自殺傾向件数は、1,776件で、対前年比348件の増加となりました。

今後とも、熊本いのちの電話の働きが充実した年となっていくように祈りつつ就任のご挨拶といたします。引き続き、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

通信81号 目次

巻頭言	P1	事業報告	P8
記念講演	P2	決算・予算報告	P10
開局記念会	P4	感謝報告	P11
開講式	P5	お知らせ	巻末
相談状況	P6		



熊本いのちの電話
ホームページ

相談電話 096・353・4343

熊本いのちの電話 開局40周年記念会を開催

1985年4月1日に国内20番目のセンターとして活動を開始した熊本いのちの電話は、今年40年という節目を迎えました。6月29日の開局記念会では、40数年前に開局に向け奔走された池田幸藏氏（前研修委員長・元事務局長・相談員1期生 以下幸藏先生）を講師としてお迎えし、当時の貴重な写真とともにこの40年を振り返って頂きました。

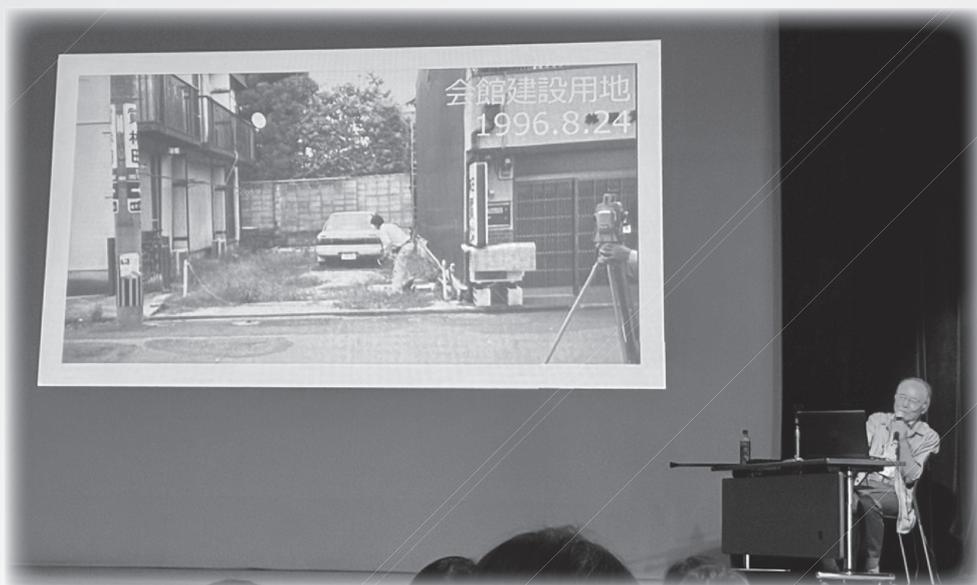
3回に亘り担当センターとして開催した九州・沖縄地区いのちの電話相談員ワークショップ、1995年の開局10周年を期に決定した1997年の全国研修会では、オープニングの山鹿灯籠踊り、熊本城散策を織り交ぜた分科会がとても好評であったこと、そして全国から集まった456人も参加者全員が収まった記念撮影での裏話をお話しされたほか、2000年には全国で初めて自前の会館を持つことができたご苦労話などなど、現在に至るまでの様々なエピソードを頂きました。

そして最後に「全ての相談員と養成講座に向き合った受講生に心より感謝の言葉を送ります。現役の相談員の皆様にはこれからも『眠らぬダイヤル』を守り続けていただくことを心よりお願いいたします。もうしばらく一緒に走りましょう」と締めくくられました。

翌春ごろには開局40周年を纏めた記念誌の製作も予定されています。そこでも幸藏先生には熊本いのちの電話とともに歩まれた40年の歴史を存分に語って頂くことになると思います。今回は特に印象的だった開局に至るまでの奮闘記を特別に掲載します。



熊本いのちの電話 理事
池田 幸藏 氏



【開局前夜】

熊本いのちの電話開設の発端は、1982年、当時熊本ホテルキャッスル社長であった故林英夫氏と札幌いのちの電話相談員として活動し、その後帰熊した馬場雄二氏の熊本での再会からであった。二人は札幌いのちの電話時代、林氏は役員として、馬場氏は相談員として旧知の仲であった。熊本に帰熊した馬場氏は林氏のホテルを訪ね、ここ熊本でもいのちの電話の必要性を訴えた。

主旨に賛同した林氏は池田幸藏氏を、馬場氏は故宮崎俊策氏（当時：熊本短期大学）を誘い四人による熊本いのちの電話の開設準備がスタートした。開局準備委員会の委員長は林氏であった。なお、林氏は熊本で講座を受講され相談員として電話の対応にもつかれていたという。初代の理事長は廣石艦光氏、事務局長は吉村有明之介氏、初代研修委員長に宮崎俊策氏という体制でスタート、1984年10月に第一期生の相談員研修が開講（現在の研修委員長藤谷裕子氏や池田幸藏氏の名前もそこに並んでいます）、開講式には「ミスターいのちの電話」と言われていた故齋藤友紀雄氏（当時：東京いのちの電話事務局長）にも駆けつけて頂き、熊本開局への期待の大きさを感じる事となった。

【開局】

2年半にわたる準備期間を経て、1985年4月1日午後2時から電話相談がスタート。相談室はカトリック手取教会の敷地内あった建物で、将来は電話機3台体制を考え、電話ブースを3台分用意したが結果2台体制でスタートした、この体制は40年たった現在も引き継がれている。

全てのスタートとなる最初の担当者は、中沢清氏（当時：研修委員）と日向（ひなた）常子氏（相談員）、4時間後に交替し坂本弘國氏（当時：研修委員）と馬場雄二氏が3時間、そして午後9時から翌朝7時までの夜の当番を馬場氏と池田氏が担当した。馬場氏は初日に都合13時間電話を受けていたことになる。当時は仮眠を取ることなく電話対応を続けていたということからも、馬場

氏のいのちの電話に懸ける情熱の大きさがわかるエピソードである。相談開始の午後2時、受話器を取る相談室の二人をスタッフは緊張した面持ちで事務室から見守っていた。2台の電話から最初の呼出音が響き渡ると、固唾をのんでいたスタッフから思わず拍手があがった。40年前の受信開始の瞬間であった。そして今の熊本いのちの電話があります。

記事作成にあたり、改めて幸藏先生に当時のお話を伺うと次から次へと感謝の言葉と共に関わった方々のお名前が出てきました。紙面の都合でその場所は40周年誌に譲りますが、おひとりだけ掲載させていただきます。

「最後にこの貴重な誌面をお借りして、池田菖子さんへ感謝の言葉を述べさせていただきます。1993年4月より相談員をしながら30年間事務局職員として又、相談員の裏方として勤めて来られました。前任者の退職前2ヵ月間後任を公募しましたが、3月中旬になっても希望者がなく仕方なく菖子さんにしばらくの繋ぎの予定で依頼しました。それまで専業主婦として事務のことなどまったくわからないまま、パソコン教室に通ったり、帳簿のつけ方のいろはを当時の財務委員長だった松村さんから習ったりと、相当頑張ったことと思います。通勤には健軍から手取教会まで、自転車を通った時代もありました。時には事務局長の私から厳しい指導を受け（あくまで立場上です）夕飯のおかずが1～2品減ることもたびたびありました。彼女の口ぐせは「相談員さんが当番に就く前と、当番を終わってからは必ず声をかけます」これは廣石理事長の教えで30年間守ってきたようです。菖子さんありがとう！ご苦労様でした。」

熊本いのちの電話を40年間支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。そしてこれからの熊本いのちの電話に対して、引き続き変わらぬご支援をお願い致します。

開局40周年記念会 及び 40期生認定式

6月29日(日)市民会館シアーズホーム夢ホール大会議室に於いて、相談員はじめ120名の関係者が集い「熊本のいのちの電話開局40周年記念式典」が開催された。今年度、理事長、事務局長、研修委員長の交代が発表され、前理事長の福田桐氏より「専門家でない人の良き隣人として電話相談受信を続けて40年、これからまた新しい時代が始まる」とご挨拶された。その後、4月1日付けで相談員に認定された、40期30名の方一人一人に認定証が授与され、40期を代表してO.T.さんから2年間の研修を振り返っての感想と、これからも精進していく決意が述べられた。



認定者のことば

H・A氏

自殺予防の電話相談は、英国のThe Samaritans（「良きサマリア人の譬(たと)え話」から命名）が源流となって世界に広まったと習いました。今、その源流がとても大切だと考えさせられます。誰だろうが傷ついた方に、偏見無しに寄り添う人になりたいです。

電話相談を受ける際は、「一期一会」、「最後かも」という思いを大切にしたいと思えます。そして「必ず、またかけてくださいね。」と言って電話を終えるよう心がけています。

M・I氏

相談員の認定を受け、まずご指導いただいた先生方、目立たないけれどもホントに細やかなお心遣いで支えてくださった事務局の皆さまに改めて感謝しお礼申し上げます。

私は『自分を知ること』を目的に相談員になることを希望しました。

しかし最近、有名人が亡くなると『一人で悩まずお電話ください』のキャッチコピーを目にして身の引き締まる思いをしております。今後、常に『良き隣人』をイメージし『一緒に考えましょうね』の気持ちを持って取り組んでいきたいと思えます。

全体研修会

午後からは123名の参加者があり【「死なないで」と伝えるために、自死遺族の視点から】と題して、講師は研修委員の堤弘雄氏により約1時間半にわたって講演があった。心理的視野狭窄状態にある人は周りの事を客観的に見ることが出来ず、時に軽い口調で死に関する言葉を口にすることがある。それを聞き逃さないでほしいと言われた。

死を口にするかけ手は、私達相談員と話をすることで自分の今の状態にふっと気づくことがある。そのことを信じ、無条件の共感を意識して対話することが大事だと言われた。具体例を交えて分かりやすく解説され、大変心に残る研修であった。



第42期 熊本いのちの電話 相談養成講座 開講式



5月13日(火)、熊本YMCA本館にて23名の受講生を迎えて開講式が行われました。参加者の中のお一人は、電話相談員への第一歩を踏み出すことに緊張とワクワク感でこれから学ぶことが楽しみだと言われていました。

毎週講座会場まで通われるのは大変なご苦労だと思われそうですが、2年後に相談員の認定を受けて活躍していただく日が楽しみです。

相談員養成講座は赤い羽根共同募金会の助成を受けて実施しています



熊本いのちの電話 開局40周年記念

24th チャリティサマーコンサート 開催報告

チャリティ公演司会 小路美香

2025年8月17日(日)、くまもと森都心プラザホールにて、熊本いのちの電話 開局40周年記念「24thチャリティサマーコンサート」が開催されました。ご来場は653名で客席は満席となり、会場は夏の暑さを忘れるほどの熱気と期待に包まれました。



第一部

「幻想夢舞台」。オープニングは舞とフルートが紡ぐ「この広い野原いっぱい」がやさしく響き、会場を温かな雰囲気包みました。続いて山鹿こどもおこと教室が「アンパンマンマーチ」や「世界の民謡メドレー」を演奏し、和の響きに親しみやすさと懐かしさを添えました。

熊本県吟剣詩舞道総連盟は吟詠・剣舞・詩舞を披露。朗々とした吟詠と優美な詩舞、力強い剣舞が観客を魅了し、40周年を祝う詩も高らかに響き渡りました。さらに、花童&はつ喜、花喜楽、花と誠の会、本條流秀美会、ことチェルトが一堂に会した合同ステージ「水命花ふるさとの風」は、舞と音が響き合い、伝統美の迫力を現代の舞台に映し出しました。

続くフルートアンサンブル'90&シリクスは「サウンド・オブ・ミュージック」「星に願いを」を優雅に演奏。バイオリン&ピアノデュオORANGEとチェロのステージでは「紅蓮華」「情熱大陸」などが熱気あふれる響きで披露され、第一部のクライマックスを飾りました。

第二部

中村花誠氏による舞踊劇「放牛地藏物語」が上演。約300年前、不遇の父を弔うため熊本各地に数多くの石仏を建立した僧・放牛の生涯を、絵本『放牛さんとへふり地藏』をもとに創作。地域に伝わる歴史と人の絆を、舞と物語を通して温かく描き出しました。

フィナーレ

出演者全員による「熊本賛歌」の大合唱で、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。終演後には出演者が募金箱を手に立ち、多くのご来場者から励ましの言葉とともに募金が寄せられました。

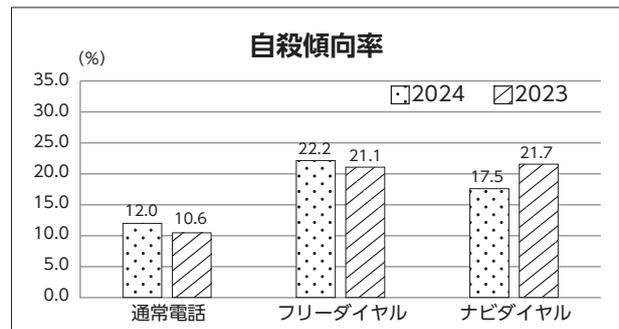
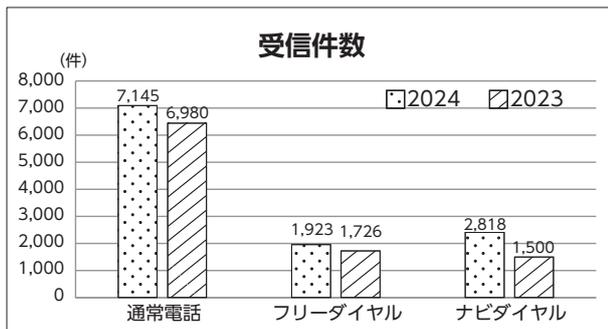
2024年度 熊本いのちの電話の相談状況

1. 概況

相談受信件数はコロナ発生（2020年）時に一旦減少したものの、以降増え続けている。これは電話受信体制が整ってきていることを意味している。相談者の発信件数は受信数の増減で判断することはできない。男女別では男性からの電話が多い傾向は続いているが、女性からの相談が特に多くなっているのが2024年度の特徴。自殺傾向件数は2023年度は減少傾向にあったが、2024年度は増加に転じている。なお、傾向率で見ると微増の範囲であり、受信件数の増加が自殺傾向件数の増加につながっている。2023年度からLGBT+Qをその他として分類を始めたが件数が少ないため男女別分類グラフなどでは掲載を省いている。

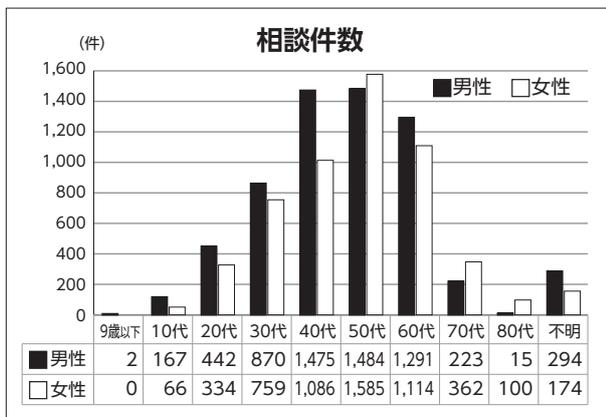
かけ手	相談件数				自殺傾向件数				自殺傾向率(%)		
	2024年	2023年	増減数	増減率(%)	2024年	2023年	増減数	増減率(%)	2024年	2023年	増減数
合計	11,886	10,206	1,680	16.5	1,776	1,428	348	24.4	14.9	14.0	0.9
男性	6,263	5,830	433	7.4	868	740	128	17.3	13.9	12.7	1.2
女性	5,580	4,327	1,253	29.0	905	685	220	32.1	16.2	15.8	0.4
その他	43	49	-6	-12.2	3	3	0	0.0	7.0	6.1	0.9

2. 受信回線別状況

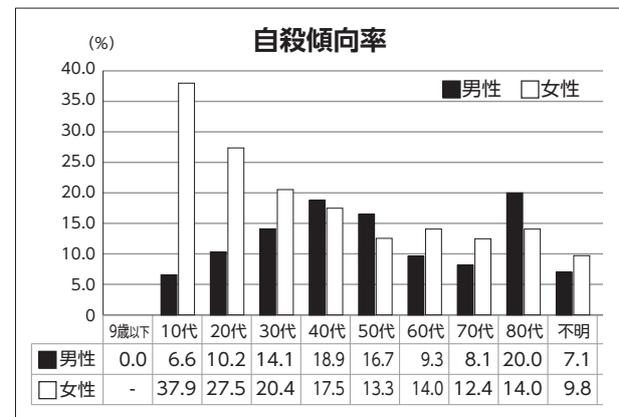


ナビダイヤルの件数が2倍近くに増加している。受信体制の整備で全体が増加したことにより、これまで受信にまで繋がらなかったナビダイヤルが繋がっていると考えられる。また、全国どこかのいのちの電話に繋がるナビダイヤルが掛け手側に浸透してきていることも想像できる。

3. 年代・男女別相談状況

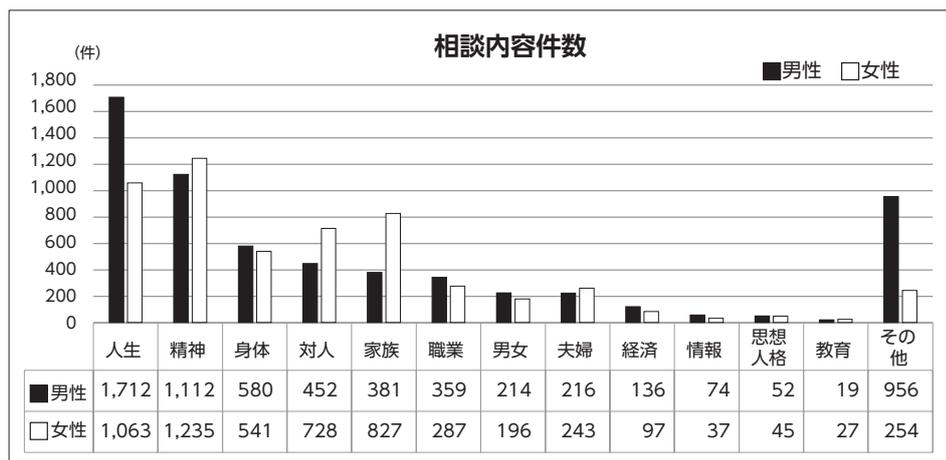


10代、20代の件数に大きな変化はないが、自殺傾向率の高さ（特に女性）と若者であることを考えると、大きな社会問題として引き続き捉える必要がある。男女ともに、40代・50代が相談者のボリュームゾーンであるのは変わらず。



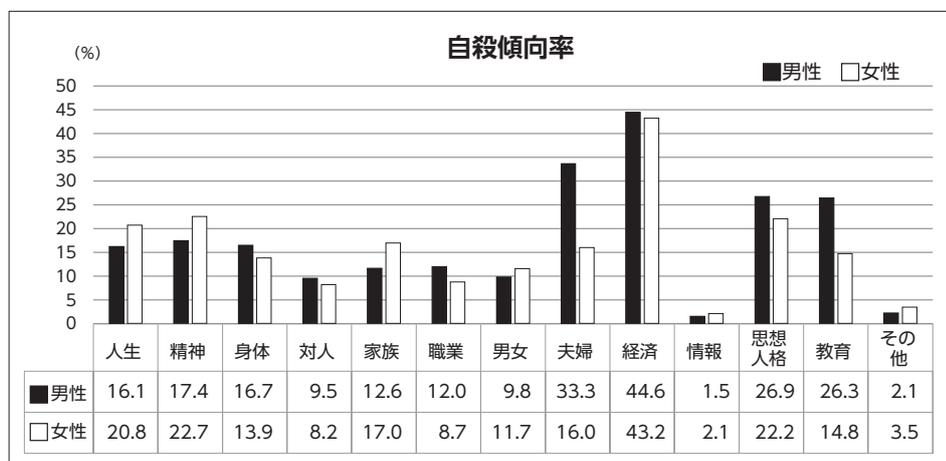
自殺傾向率は女性の若年層が高い傾向が続いている。40代以降になると男女差は無くなる傾向にあるので、10代20代女性に対するより丁寧な対応が必要である。

4. 相談内容の男女別件数



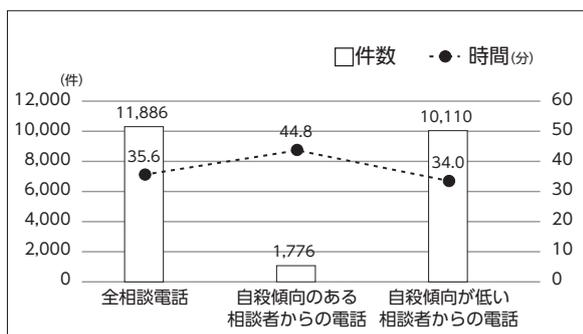
人生について、精神的・身体的な病い、家族を含む対人関係に悩んだ相談が多い傾向はほぼ変わらない。女性は対人関係での悩みが男性に比べて多い。男性に「その他」が多いのは、抱える悩みの吐露に至らず、日常の会話をして受話器を置くケースが多いため。社会との繋がり確認、孤独感の一時的な解消を求める相談者が一定数居る。

5. 相談内容の自殺傾向率



分母がまちまちなので、率だけで判断するのは難しいが、経済的な理由での相談は深刻な状態に陥っている傾向にある。夫婦間に起きた問題も激しい感情の揺れによるものか自殺を考える要因になる傾向が強い。

6. 通話時間の比較 (1通話あたりの平均通話時間と件数)



自殺傾向のある通話の方が通話時間は長い。内容の深刻さ、受け手側の慎重な対応が見て取れる。なお、受信総数に比べ自殺傾向者の割合が非常に小さく見えるが、通話(対話)で得た情報だけで相談員が判断しており、その判断は非常に難しい。

7. インターネット相談

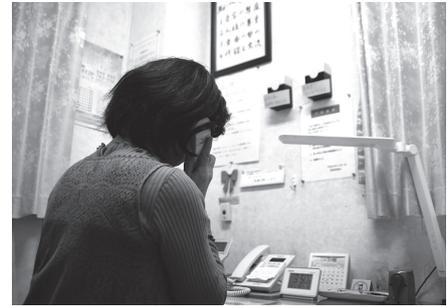
2024年の全国での相談件数は1,059件(男性433件 女性590件 その他36件)で、前年と比べて男性からの相談が61件、10代、20代からの相談件数が約100件増加している。そのうち自殺傾向のある相談は37.5%で、例年通り電話相談に比べて高い傾向にある。熊本では6名の相談員が、電話相談活動と両立しながら年間50件の送信をした。

社会福祉法人 熊本いのちの電話

令和6年度(2024年度) 事業報告

1. 電話相談活動

- (1) 熊本いのちの電話 (2024年4月～2025年3月)
総受信件数 11,886件 (総受信時間 7,045時間)
自殺傾向件数 1,776件 (自殺傾向率 14.9%)
- (2) 受信体制(令和6年度始)
実稼働人数 134名 (認定相談員 97名、40期研修生 37名)
休務者数 23名
- (3) フリーダイヤル自殺予防いのちの電話(再掲)
毎月10日 (2024年9月・2025年3月FD含む)
午前8時～24時間 714件 (受信時間 332時間)
毎日フリーダイヤル 18時～21時 1,209件 (受信時間 638時間)
- (4) インターネット相談：
熊本対応件数 50件、相談員6名



電話相談受信風景



41期開講式



一泊研修



九州ワークショップ熊本大会



事前説明会

2. 研修活動

- (1) 第41期 電話相談員養成基礎講座
場所 熊本YMCA本館
①開講式 令和6年5月7日 37名
②前期(基礎講座) 令和6年5月7日～9月10日
③後期(養成講座) 令和6年9月24日～令和7年3月18日
- (2) 第40期生 スーパービジョン(2年目研修)
期間 令和6年4月～令和7年3月(月2回電話当番担当、月1回SV研修)
人数 37名(男性12名、女性25名)5班構成で実施
- (3) 継続研修(第1期生～第39期生)
各曜日班(10班編成) 毎月1回実施 93名
- (4) 全体研修
①第1回 6月22日(土)13:30～17:00・6月23日(日)9:00～12:00
会場：熊本県民交流館パレア
九州沖縄地区いのちの電話相談員ワークショップ熊本大会
・基調講演「自殺予防研究から見たいのちの電話の強みと社会的役割」講師：勝又陽太郎氏
・分科会A「自殺危機にある方に対応する際の注意点」講師：橋本聡氏 / 分科会B「インターネット世界にSOSを出す子供の理解と対応」講師：田中慎一郎氏 / 分科会C「発達障害の理解」講師：水間宗幸氏 / 分科会D「ひきこもりと精神障がい、その対応について学ぶ」講師：常増健二氏、中村晶子氏、樋口ゆき氏
参加者：215名
②第2回 11月3日(日) 14:00～16:30
会場：熊本市市民会館大会議室
テーマ：「対応困難事例についてのグループワーク」
講師：藤谷裕子
参加者：95名
- (5) 相談員会企画研修
社会資源探訪 令和7年2月21日(金)
訪問先：熊本県福祉総合相談所 中央児童相談所
参加者：38名

3. 相談員募集活動

- (1) 第42期電話相談員養成講座受講生募集活動
○熊本市政だよりはじめ、31市町村の広報誌に募集案内の掲載
○熊本県・熊本市記者クラブへの広報
○KABでTV15秒スポットCM98回放映等
○ホームページ、SNS、マスコミ、事前説明会での周知活動

- (2) 第42期生電話相談員養成講座募集条件及び結果
- ①募集計画人数 40名
 - ②応募条件 20歳以上70歳以下
 - ③受講料 前期10,000円、後期12,000円（一泊研修費別）
 - ④応募者数 43名
 - ⑤受講者数 23名（開講時）

4. 啓発・広報活動

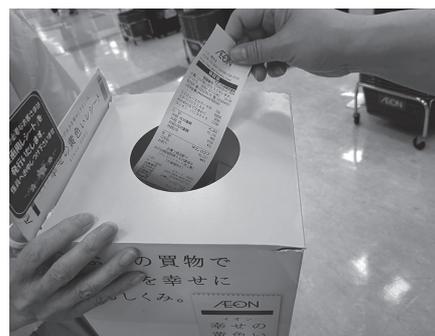
- (1) 第23回チャリティ公演「冬のきらめきコンサート」
 令和6年12月25日(日) 14:00~16:30
 会場：くまもと森都心プラザ5F プラザホール
 来場者：313名
 監修：中村花誠
 出演：舞踊団花童&はつ喜/花喜楽/花と誠の会
 熊本県吟剣詩舞道総連盟/菊池女子高等学校（郷土芸能部）
- (2) 広報誌「通信」発行 年間3回
- ・春号・・・通信78号 1,800部
 - ・夏号・・・通信79号 1,800部
 - ・新年号・・・通信80号 1,500部
- (3) SNS等オンライン情報の拡大・最新化
- ・熊本のいのちの電話公式SNS運用の継続
 - Instagram 41件の投稿 フォロワー110名
 - Facebook 25件の投稿 フォロワー429名
 - ・ホームページ情報の現行化 更新回数 18件
- (4) 広報用ノベルティの活用
- いのちの電話名入りボールペン1000本作製
 - ・事前説明会、来訪者、他県からのワークショップ参加者等へ配布
 - ・寄付依頼訪問先、チャリティ公演にて配布



全体研修会



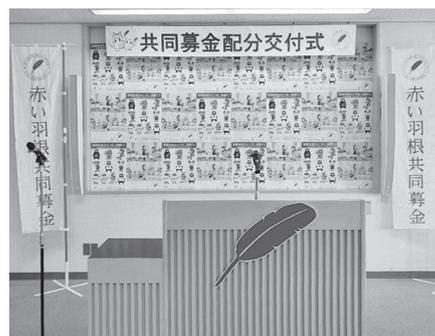
第23回チャリティ公演



黄色いレシートキャンペーン

5. 運営資金確保活動

- (1) 資金サポート会員
- 賛助会員 116万円（令和5年度 282万円）
 - 維持会員 264万円（令和5年度 287万円）
- (2) 募金式自動販売機
- 自販機収入額 130万円（令和5年度 132万円）
- (3) イオングループの黄色いレシートによる募金
- イオン熊本店（嘉島） 4万円（令和5年度4万円）
- (4) 共同募金（20万円）、善意銀行（6万円）
- (5) ふるさとくまもと応援寄付金37万（令和5年度55万円）
- (6) チャリティ公演からの支援金（120万円）



赤い羽根共同募金配分交付式

6. 各種会議等

- (1) 役員会
- ①第74回理事会
5月16日 熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール会議室
令和5年度事業報告、決算報告
 - ②第55回評議員会
6月18日
令和5年度事業報告、決算報告
 - ③第75回理事会
令和7年3月19日 熊本YMCA本館
令和7年度事業計画、予算
- (2) 日本いのちの電話連盟
- ①定期社員総会（ハイブリッド方式）
6月15日 令和6年度事業計画、予算
令和5年度事業報告、決算
 - ②連盟主催 事務局長会議（ハイブリッド方式）
6月29日 当面の課題について
 - ③連盟主催 九州ブロック会議 長崎センター
11月3日・4日
 - ④連盟主催 統計システム委員会（リモート方式）
12月6日



第75回理事会

表1

資金収支計算書

令和6年度予算・決算 (自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日
 令和7年度予算 (自)令和7年4月1日 (至)令和8年3月31日

(単位:円)

勘定科目	令和6年度			令和7年度
	予算	決算	差異	予算
事業活動による収支				
事業活動収入	12,506,500	14,584,191	△2,077,691	10,632,000
事業活動支出	11,020,000	10,201,698	818,302	13,232,000
事業活動資金収支差額	1,486,500	4,382,493	△2,895,993	△2,600,000
設備整備等による収支				
設備整備等収入	5,115,000	3,115,000	2,000,000	0
設備整備等支出	5,935,000	3,950,450	1,984,550	0
設備整備等資金収支差額	△820,000	△835,450	15,450	0
その他の活動による収支				
その他の活動収入	0	0	0	3,000,000
その他の活動支出	400,000	396,000	4,000	400,000
その他の活動資金収支差額	△400,000	△396,000	△4,000	2,600,000
当期資金収支差額合計	266,500	3,151,043	△2,884,543	0
前期末資金残高	28,341,507	28,341,507	0	31,492,550
当期末支払資金残高	28,608,007	31,492,550	△2,884,543	31,492,550

表2

事業活動計算書

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		令和6年度決算	令和5年度決算
サービス活動収益	維持会費収益	2,647,099	2,871,673
	賛助会費収益	1,160,550	2,820,000
	講習受講料収益	1,362,000	1,099,000
	事業収益	1,205,629	1,363,954
	共同募金会収益	200,000	200,000
	善意銀行収益	60,000	60,000
	補助金収益	4,770,000	4,856,000
	雑収益	3,167,672	2,771,597
サービス活動収益計		14,572,950	16,042,224
サービス活動費用	人件費	4,154,682	4,107,658
	事業費	2,638,938	3,659,570
	事務費	3,408,078	3,778,977
	減価償却費	1,782,091	1,449,585
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△890,887	△638,110
	サービス活動費用計	11,092,902	12,357,680
サービス活動増減差額		3,480,048	3,684,544
受取利息		11,241	563
経常増減差額		3,491,289	3,685,107
特別増減	施設整備等補助金収益	3,060,000	0
	固定資産処分損	1	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	3,060,000	0
当期活動増減差額		3,491,288	3,685,107
前期繰越活動増減差額		32,508,999	29,823,892
当期末繰越活動増減差額		36,000,287	33,508,999
その他の積立金積立額		0	1,000,000
次期繰越活動増減差額		36,000,287	32,508,999

熊本のちの電話

令和6年度 決算報告
 令和7年度 予算報告

「令和7年度予算」(表1)は令和7年3月19日の理事会において決定、「令和6年度決算」(表1、表2、表3)は令和7年6月23日の評議員会において承認されました。

表3

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	32,741,363	29,977,892	2,763,471	流動負債	1,248,813	1,636,385	△387,572
現金預金	32,741,363	24,897,262	7,844,101	事業未払金	1,233,210	1,407,637	△174,427
事業未収金	0	4,856,000	△4,856,000	預り金	15,603	11,748	3,855
前払費用	0	49,350	△49,350	仮受金	0	217,000	△217,000
仮払金	0	175,280	△175,280	固定負債	0	0	0
固定資産	38,948,121	36,438,763	2,509,358	負債の部合計	1,248,813	1,636,385	△387,572
基本財産	19,968,000	20,364,000	△396,000				
土地	7,000,000	7,000,000	0	純資産の部			
建物	11,968,000	12,364,000	△396,000	基本金	30,000,000	30,000,000	0
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	国庫補助金等特別積立金	3,440,384	1,271,271	2,169,113
その他の固定資産	18,980,121	16,074,763	2,905,358	土地取得費用積立金	1,000,000	1,000,000	0
器具備品	5,393,269	2,804,511	2,588,758	次期繰越活動増減差額	36,000,287	32,508,999	3,491,288
ソフトウェア	19,800	79,200	△59,400	(うち当期活動増減差額)	(3,491,288)	(3,685,107)	△193,819
敷金	35,000	55,000	△20,000	純資産の部合計	70,440,671	64,780,270	5,660,401
建物減価償却引当積立資産	10,032,052	9,636,052	396,000				
減価償却引当積立資産	2,500,000	2,500,000	0	負債及び純資産の部合計	71,689,484	66,416,655	5,272,829
土地取得費用積立資産	1,000,000	1,000,000	0				
資産の部合計	71,689,484	66,416,655	5,272,829				

《脚注》減価償却費の累計額 22,277,957円

熊本いのちの電話 感謝報告

ご支援をいただきありがとうございました。

2024年12月1日～2025年7月31日 までに確認出来た方

法人・団体の部

(敬称略・順不同)

九州電機工業(株) 江頭 義人 共同募金 熊本医療ガス(株) 白瀬 嗣久 熊本e企画社 湯澤 一成 熊本県吟詩舞道総連盟 熊本県民共済 熊本善意銀行 熊本トヨタ自動車(株) 及び社員一同	さいが綜合法律事務所 雑賀 庸泰 (株)SYSKEN 上村幸太郎 すずかけ台保育園 平野 正憲 誠光寺 島村 純孝 一社)生命保険協会熊本県協会 セベ産科用品(株) 坪田 隆二 善意銀行	(株)タケモト 武本 英博 東亜シルク(株) 長野 和男 東京エレクトロン九州(株) 及び社員一同 トリプル・ウイン(有)田中 一美 日本基督教団 熊本白川教会 (有)ヒューマン・ケア 佛巖寺 (有)フットフィール	(有)都環境開発サービスセンター 朴 法子 森本法律事務所 森本 耕司 有斐総合法律事務所 井上 陽介 一社)夢ネットはちどり 堤 弘雄 YMCAチャリティゴルフ会 (匿名:1件)
---	---	---	--

個人の部

(敬称略・順不同)

青木 悟 有馬 修二 有吉 利幸 壺岐 憲司 伊豆 英一 伊藤勢津子 稲尾 貞臣 猪本 耀子 岩崎 進 上田真由美 上原 仁朗	内田 直美 浦川 務 江崎 啓子 悦 正治 大井 和美 大木 博幸 尾崎 元昭 小路島正臣 小野 友道 小山 照映 片岡 隆治	片桐 清志 金子 義勝 唐崎 好美 河北 敏夫 川副 秀 河村邦比兒 神崎 芳郎 木村美由紀 草刈 睦美 久保山嘉男 小出 史	郡山 和代 古賀 康彦 小澄 康彦 後藤 秀昭 小牧 正敏 斉藤 登 境 正子 坂村 哲子 崎元 達郎 佐藤 泰生 鈴木 睦美	高杉ノリ子 竹下 精一 田崎 龍一 立和田 斉 田中 信義 田中 淑子 中野慎一郎 中村 頌子 中村 孝彦 那須新一郎 成松 真	西井くに子 西尾 京子 西嶋 公一 野田 馨 野田 幸孝 早川 洋一 林 修子 葉山 京子 東 静一 平方 英子 開 由美子	布田 昭 本田 重寿 牧 勝美 松尾妃都美 松岡 泰輔 松村 尚美 松本 慎介 三浦 勲 水谷 潤 溝田 武人 光永 尚生	三原 種昭 宮崎 文 宮崎 拓郎 宮部 一郎 守屋 洋 山尾 敏孝 吉岡りゅうこ 吉北 光昭 吉田 信介 吉永 圭彦 米澤 和彦	米光 宏 渡辺 誠二 渡辺 和文 (匿名:14名)
---	---	---	---	--	--	---	--	------------------------------------

このほか、切手、お茶、コーヒー、お菓子等のご提供がありました。心から感謝申し上げます。

募金式自販機寄付

募金式自動販売機設置にご協力いただいている方々

(敬称略・順不同)

ウェルフェアホームゆたか事業所 APパーク桜町 おおつかの郷 大津陣内メディケアセンター 菊陽レディースクリニック 北熊本乗馬クラブ 九州看護福祉大学 九州電機工業(株) 九州中央リハビリテーション学院 九州ルーテル学院 (株)九電工	熊本学園大学 熊本県医師会館 熊本放送(RKK) 熊本保健科学大学 熊本YMCA 桑原クリニック KMパイオロジクス(株) (医)孔子会 孔子の里 金剛(株) (株)佐藤産業 (株)SYSKEN	(医)寿量会 熊本機能病院 (福)愛隣会 春光園 崇城大学慶賓館 大東商事(株) 建吉観光土地(株) (株)建吉組 (医)寺尾会 寺尾病院 (医)聖公会 中村整形外科 (株)南星機械 (株)Denzai (特非)花織部	ハヤカワスポーツ ヒロ・デザイン専門学校 (医)愛育会 福田病院 不二高压コンクリート(株) ホテルサン人吉 松尾建設(株) まつばせレディースクリニック 御船町 (株)ミヤマラ 湯前町 (福)啓明会 荅山寮
---	---	---	--

サントリービバレッジサービス(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(株)伊藤園の3社のご協力を頂き、自販機によるご寄付の仕組みを準備しております。各自販機設置者様のご支援と上記3社のご協力に感謝申し上げます。

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

令和6年度分として¥42,800のギフトカードを頂きました。レシートをご投函いただいた皆様とイオン熊本本店さまに感謝申し上げます。毎月11日にイオン熊本店(嘉島)でお買い物の際には、黄色いレシートを「熊本いのちの電話」のボックスにご投函お願いします。

肥後銀行、熊本銀行、熊本第一信用金庫のご厚意で、寄附金お振込みの際の振込手数料を免除いただいております。各金融機関のご厚意に対しあらためて感謝申し上げます。



伊藤園様から初めての寄付付き自販機をSYSKEN本社に設置

社会福祉法人 熊本いのちの電話

2025年度 役員名簿

令和7年度役員のご紹介です。

2025年(令和7年)8月1日現在

役職	氏名	勤務先・職業	役職	氏名	勤務先・職業
理事長	光永 尚生	九州ルーテル学院・学院長	評議員	井原 宏	熊本トヨタ自動車株式会社代表取締役社長
理事	福田 稠	社会医療法人愛育会理事長	評議員	藤瀬 昇	熊本大学教授・医学博士(医師)保健センター長
理事	赤星 敦	株式会社SYSKEN顧問	評議員	荒木めぐみ	アスライズ社会保険労務士事務所所長/労働者福祉組合会長
理事	池田 幸藏	不動産・損害保険池田事務所代表/熊本いのちの電話研修委員	評議員	福井 春菜	弁護士 アステル法律事務所
理事	榑 政彦	株式会社ユーピーシー代表取締役/熊本いのちの電話事務局長	評議員	田崎 龍一	学校法人熊本城北学園(九州看護福祉大学)理事長
理事	藤谷 裕子	ピアノ講師/熊本いのちの電話研修委員長	評議員	渡邊 隆義	カトリック教会 司祭
理事	浅野 智弘	宗教法人蓮台寺 僧侶	評議員	伊藤真太郎	熊本YMCA 総主事
監事	大村 豊	弁護士 大村法律事務所長	評議員選任・解任委員	西嶋 公一	西嶋コーポレーション株式会社 専務取締役
監事	中村 孝彦	税理士 元中村税理士事務所所長	評議員選任・解任委員	日野 充裕	熊本いのちの電話 研修委員
評議員	悦 正治	社会福祉法人同僚友愛会 監事	評議員選任・解任委員	大村 豊	弁護士 大村法律事務所長
評議員	吉村圭四郎	瑞鷹株式会社 代表取締役副会長	評議員選任・解任委員	諸藤 圭子	NPO法人自立の店ひまわりパン工房・カフェ理事
評議員	出田 信行	大熊本証券株式会社 元会長			

事務局長あいさつ



この春より事務局長を務めることになりました榑政彦です。長年、事務局を温かく支えてこられた前任の思いを受け継ぎ、これからも安心して話せる相談の場を守ってまいります。いのちの電話は直接お会いしてお話することはありませんが、匿名だからこそ私へ語っていただける場です。勇気をもってお電話くださる方々の声に耳を傾け、寄り添う活動を続けてまいります。今後とも活動継続にご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

この『通信81号』をお届けするのは、災害級の暑さも幾分か和らぐ「白露」頃の予定です。季節の移ろいの繊細さが曖昧になり、短い梅雨が明けた6月29日、開局40周年記念式典を行いました。40年の歴史とともに歩んでこられた池田幸藏氏による創成期を中心とするお話や記録写真から、支えてくださった多くの方々に思いを馳せ、胸が熱くなりました。今回は理事長・事務局長の交代もお知らせしています。温故知新、そして新たな風を受け、次の10年20年へと漕ぎ出します。電話の向こうの「隣人」には、これからも変わらず繊細に寄り添い続けます。今後とも熊本いのちの電話をよろしくお願いいたします。

事務局日誌

令和7年2月～8月

2月	18日	第41期養成講座閉講式
3月	19日	第75回予算理事会
	27日	第42期相談員募集説明会(No.1)
4月	1日	第42期相談員募集説明会(No.2)
	17日	チャリティ公演2025第1回打合せ
	13日	イオン熊本黄色いレシートギフトカード贈呈式
	18日	第42期相談員募集説明会(No.3)
	21日	㈱伊藤園 寄付付き自販機新規契約
5月	13日	第42期養成講座開講式
	19日	評議員選任解任委員会
6月	2日	第76回決算理事会
	11日	チャリティ公演2025第2回打合せ
	23日	第56回定時評議員会・第77回理事長交替臨時理事会
	29日	創立40周年記念式典
8月	17日	第24回チャリティ公演



社会福祉法人 熊本いのちの電話 事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343

発行人: 光永 尚生 編集: 広報委員会

熊本いのちの電話

検索

※毎日フリーダイヤル(16:00～21:00)
※毎月10日フリーダイヤル(10日8:00～翌日8:00まで)